ニューノーマル時代に生き残る企業に 求められる『社内デジタル人材』とは?

昨今、企業で進められる DX は、新型コロナウイルスによる業務環境のデジタル化だけでなく、新たなデジタルサービスの立ち上げ、働き方改革への対応など多くのシーンで必要とされています。しかしながら、 DX を進めるためには IT スキルを持った人材が必要となりますが、頼みの綱の IT ベンダーも人手不足であり、 2030 年には IT 人材が最大 79 万人不足、現時点でも 30 万人が不足していると言われます。 このような状況下において、企業に今求められることは自社で IT 人材を育成し、「内製化」を図ることです。 ではその実態はどうか? 当セミナーでは、企業に求められる「社内デジタル人材」とはどのようにして育成すれば良いかについて詳しく解説致します。 ぜひこの機会にご参加下さい!

◆◇セミナー内容◇◆

- 1. デジタルシフト (=DX) が進まない理由
- 2. DX の重要要素『デジタルデータの利活用』
- 3. デジタル人材とは

- 4. デジタル人材に求められるスキルと育成方法
- 5. 自社で始める『スモールスタート DX』と デジタル内製化の武器
- 6. 質疑応答



開催日▶

令和 4 年 10 月 14 日 (金) 14:00 ~ 16:00

場所▶

佐賀商エビル7階大会議室 A

(佐賀市白山2丁目1-12佐賀商エビル7階)

<u>※恐れ入りますが、当セミナーでは、無料駐車場は配布</u> 致しません。当ビル周辺の有料駐車場をご利用下さい。

定員▶ 20名

(定員になり次第、締切らせて頂きます。)

<ご注意>

- ・当日は、マスク着用の上、入口にて検温を全員にお願い致します。
- ・発熱や咳などの症状がある場合は参加をお控え下さい。
- ・出入口にて必ずアルコール除菌をお願い致します。
- ・オンライン開催への変更や中止・延期する場合があります。

講師▶



SCSK 株式会社 クラウドサービス事業本部 新ビジネス推進部 副部長

おかだ

ひとし

岡田 一志 氏

1998 年、住商情報システム株式会社に入社し、同社データセンター「netXDC」の構築プロジェクト、お客様のインフラ基盤構築プロジェクトに携わる。

その後、米国 Curl,inc にてプログラミング開発言語「Curl」のコンパイラや開発ツールの技術に関わり、米国から日本国内への技術移管プロジェクトの責任者を務める。

2012 年~2016 年には、プロダクト責任者としてモバイル開発ツール、モバイル配信プラットフォーム、ノーコード開発サービス「CELF」などの新規サービスの企画・立案・構築・マーケティングを経て、現在は SCSK 株式会社にて、クラウド事業のマーケティングを担当する。

共 催▶

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会佐賀支部

申込方法 ▶ 下記申込書を FAX (0952-26-2914) 又はメール (soumu@saga-cci.or.jp) にてお申込み下さい。

10/14 情報化セミナー参加申込書▶▶ FAX: 0952-26-2914

ご記入いただいた情報は、 当所からの各種連絡・情報提供のほか、 参加状況分析等以外では利用しません。

事業所名			TEL	
住 所			FAX	
受講者名			メール	

✔ 佐賀商工会議所 支援・サービス企画課

佐賀市白山2丁目1-12 TEL:0952-24-5158 FAX:0952-26-2914 HP>>http://www.saga-cci.or.jp →セミナーの情報は HP でもご覧頂けます。

お問い 合わせ